

# 18－3 アフリカの食料安全保障と栄養の改善に向けた国際研究プログラム

【令和7年度予算概算決定額 36（37）百万円】

## <対策のポイント>

G7広島サミットでの世界の食料安全保障に関する議論等を踏まえ、次回以降のアフリカ開発会議（TICAD）等を見据え、気候変動への対応や栄養供給の向上に資する作物品種の開発や栽培体系を構築し、アフリカの食料安全保障と栄養の改善に向けての取組を推進します。

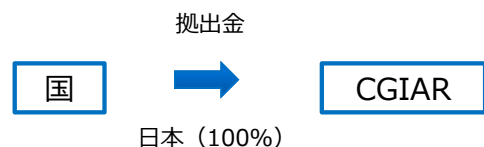
## <事業目標>

- 耐塩性、耐干性に優れたイネ2品種の開発 [令和8年度まで]
- 在来品種より栄養価の高いヤマモ系統を2つ以上、ササゲ系統を3つ以上開発し、作物ごとに高収量となる栽培体系を構築 [令和7年度まで]

## <事業の内容>

1. 国際農業研究機関が保有する多様な遺伝資源や現地の実証圃場を活用し、気候変動によって拡大を続けるアフリカの不良環境地にも適応した作物品種の開発や、アフリカの食文化と地域作物を活用した、より栄養価の高い作物系統の開発を、各国のパートナーと連携して推進します。
2. 各国政府とのネットワークやTICAD 9（日本）等の国際会議の場を活用し、国際農業研究機関と我が国の研究機関が一体となった取組を情報発信します。

## <事業の流れ>



## <事業イメージ>

○耐塩性・耐干性  
イネ品種の開発



○高栄養ヤマモ・ササゲ系統の開発



我が国の研究機関と一体となった取組の情報発信

## 期待される効果

- アフリカの食料安全保障と栄養の改善
- 次回以降のアフリカ開発会議（TICAD）に貢献



【お問い合わせ先】（1）輸出・国際局新興地域グループ（03-3502-5913）  
（2）農林水産技術会議事務局国際研究官室（03-3502-7466）